

会 議 録

1 会議名

平成26年度第12回中郷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）報告（公開）

ア 第5次行政改革推進計画等、各種計画の策定について

イ 公の施設使用料の減免基準の見直しについて

（2）その他（公開）

3 開催日時

平成27年3月25日（水）午後6時00分から午後7時10分まで

4 開催場所

はーとぴあ中郷 1階 研修室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・ 委 員：岡田豊、高橋達也、岡田龍一、坂田浪平、竹内昭彦、竹内朗、
竹内靖彦、古海博康、山内敏夫、山崎新一、横山一政、陸川昇一

・ 事 務 局：行政改革推進課 竹下智之係長、新保大志係長

財政課 米山正浩係長、笹川齊係長

宮崎雅彦中郷区総合事務所長、小嶋久雄次長、梨本昇市民生活・

福祉グループ長

総務・地域振興グループ 山崎稔班長、城戸俊夫班長、岩澤紀之主任

〔 以下、総務・地域振興グループは総務G、市民生活・福祉グループは
市民G、教育・文化グループは教育G、グループ長はG長と表記 〕

8 発言の内容

【城戸班長】

ただいまから平成26年度第12回中郷区地域協議会を開会します。本日は、岡田雅範委員と山崎清委員の2名から欠席の連絡があります。

現在の出席委員は12名です。上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席がありますので、会議が成立していることを報告します。また、同条例第8条第1項において、会長が議長になることに規定されていますので、これ以降の進行については、岡田会長にお願いします。

【岡田(豊)会長】

(時候のあいさつ後)

本日の会議録の確認ですが、横山一政委員と、岡田龍一委員にお願いします。

それでは、報告(1)の「第5次行政改革推進計画等、各種計画の策定について」と(2)の「公の施設使用料の減免基準の見直しについて」報告をお願いします。

【宮崎所長】

3月の地域協議会の中で、高橋副会長さんから、行政改革推進計画とか各種計画の報告がある場合は、たっぷり時間をとってやるようにと言われました。今ほど会長さんからお話がありましたように、今日はこれから後の会議もありますので、今回は短時間しか取れないのですが、4月以降また来ていただくように話をしておりますので、ご了解ください。

今日の出席職員の紹介をさせていただきます。行政改革推進課 竹下智之係長、新保大志係長、財政課 米山正浩係長、笹川斉係長です。

それでは、説明をしていただきます。

【竹下係長】

各種主要計画の関係について

事務事業の総点検の結果公表について

— 資料により説明 —

【新保係長】

公の施設の再配置計画について

公の施設使用料の減免基準の見直しについて

— 資料により説明 —

【米山係長】

上越市第2次財政計画の概要について

— 資料により説明 —

【岡田(豊)会長】

概要の説明がありました。思い当たった点、今後論議していく点について、ご発言をいただきたいと思います。

1つ目の「各種主要計画の関係について」の考え方の流れについては、ご理解をいただけたと思います。2つ目の「事務事業の総点検の結果公表について」ご質問はありますか。

【古海委員】

勝ち馬投票券オープス中郷の交付金の件について、平成30年度末までの廃止と計画されています。この中で市内の類似施設の協力金と同様な扱いをする為とありますが、類似施設は具体的にどのような施設ですか。

【宮崎所長】

類似施設は富岡にあります「オラレ上越」競艇です。これは、先ほど会長さんも言われましたように、各論については時間を取りまして、来月以降にやりたいと思います。

【古海委員】

この件については、私も勉強したいと思います。時間をかけたいと思います。

【岡田(豊)会長】

他にいかがですか。

次に上越市公の施設の再配置計画について説明をいただきましたが、こちらについて、お聞きしたい点ご意見があったらお願いしたいと思います。

よろしいですか。

次に上越市第2次財政計画の概要について、ご質問等があったらお願いします。

【岡田(龍)委員】

これが、絵に描いた餅にならないようにお願いします。

何でもかんでも削減することは、いかがなものかと思います。本当に必要なものは残していただき、本当に無駄なものの精査を考えて、もう一度検討していただきたいと思います。

【岡田(豊)会長】

聞いておいてください。

【高橋副会長】

財政計画の中で、支所という言葉が使われていますが、どういう意味なのかお聞きをしたい。

34年度に今までの土地開発公社云々と挙げられています。議会が通れば仕方ありませんが、その辺の解釈の仕方が、一般の市民の考え方とずれがあるのではないかと疑問に思いました。これは、聞いておいていただくだけでよいです。

また、それぞれの課の人数を教えてください。

【竹下係長】

行政改革推進課は、課長、副課長、一般職が6名で、総勢8名で業務を行っています。

【米山係長】

財政課は、課長1名、副課長1名、係長以下13名、計15名います。

支所という言葉ですが、国の普通交付税算定基準の中で、支所という項目になっていますので、その説明で使わせていただきました。上越市の場合は総合事務所になりますと説明させていただきました。

【笹川係長】

平成34年度に借り換えを予定しています三セク債についてですが、三セク債は償還期間が20年で、途中の10年間経過後、残債をその時点の利率で借り換える形で起債の許可をいただいています。借り入れの段階から借り換えを予定して、返済を一括償還しますが、同額を同日付で新たに借りる仕組みになっています。

【岡田(豊)会長】

次に、公の施設の減免基準の見直しについてのご意見をお願いします。

【岡田(龍)委員】

減免で、利用率の低下若しくは利用率の向上について、お考えはありますか。

【新保係長】

減免制度の見直しで、どの位施設の利用状況が鈍るのかですが、それぞれの施設を所管している課とやり取りしている中では、大きくは減らないだろうと考えています。個人で使う場合には、それぞれお金を払うことになるのですが、団体で使うものについては、料金をその団体で割り返すことになり、一人一人の金額はあまり大きくなり

ません。そういった中では、あまり大きい減少には繋がらないと考えています。

施設の利用率の向上については、それぞれの所管課で対応をさせてもらっていますが、実際利用が伸びているかというところ、なかなか難しい部分がございます。施設によっては指定管理者がそれぞれ独自の計画を立てるなど、特に空きが多い昼間の時間帯に市民の皆様から利用していただく取り組みを行っているところですが、全ての施設で、それが実っているかというところ、なかなか難しいところがあります。そういった部分についても、減免とか使用料を見直しする中で、施設についても有効活用できるような対応を引き続き進めてまいりたいと考えています。

【岡田(龍)委員】

分かりやすい説明を利用者に対して、お願いします。

【岡田(豊)会長】

他にいかがですか。

全体を通してありますか。

【古海委員】

財政計画で、平成28年度と29年度に新水族館の建設と新クリーンセンター建設が計画されています。市債の残高についても、その1年後2年後にピークが来るのですが、市の行財政にこの2つの建設が大きく絡んで来て、そのために公の施設の再配置についてもしわ寄せが来るのではないかと感じられます。この2つの大きな建設事業が、もし無ければ、財政計画がどうなるかのシミュレーションしたものはありますか。

【笹川係長】

ご指摘の2つの事業を行わなかった場合のシミュレーションはしておりませんが、個々の経費を積み上げで積算していますので試算は可能です。ご指摘の2つの事業を実施しない場合、市債残高がその分下がりますので、公債費も下がります。財政健全化指標であります「実質公債費比率」と「将来負担比率」についても下がる方向に作用します。試算をしていますが、無かった場合には、そういう方向で作用する要素となります。

この2つの施設については、位置づけとして大きな違いがあります。水族博物館については、新幹線開業を踏まえた攻めの事業、価値ある投資との表現をしていますが、攻めの戦略をとるためのまちづくりに不可欠な施設であるとの位置付けです。クリー

ンセンターは老朽化が進み、多額の修繕費を要している中で、今後も修繕をしながら施設を維持したとしても、いずれは建て替えなければならぬ施設です。これについては、合併特例措置で有利な起債として活用が可能であります合併特例債の発行が可能ならうちに、クリーンセンターの更新という大事業を実施しようとの判断がございまして、手続きを進めてきた経過がございまして、

【岡田(豊)会長】

よろしいですか。

クリーンセンターは理解できると思いますが、最近になって水族博物館に1.6倍の予算がかかる報道がされると、やはり市民としては不安な点がでてきます。

公の施設の再配置の中に、人口とか面積とか一人当たりの面積が出されていますが、これからの人口動向や地域における人口動向、少子高齢化、地域によってはアンバランスしてくるわけです。その中で、公の施設の再配置もおのずから変わってくると思います。小学校、中学校の学校の配置、高齢者向けの施設の配置は、どのように加味されてきたのか、次回に説明をいただきたい。

事務事業の総点検の結果公表で、評価区分の中で、継続の項目の中に、拡充をしなければいけない項目もあります。この拡充はどのような範囲なのか説明をしていただきたいと思います。

皆さんで、各論に入ったときに説明を聞きたい点があったら、出していただきたいのですがいかがですか。

よろしいですか。

それでは、市の説明をこれで閉じさせていただきます。

先ほど相談させていただいたのですが、市では、今日皆さんに総論を説明したので、なるべく早く各論の説明と意見交換に入りたいと希望をお持ちです。我々としては、これから相談になりますが、4月に日程調整したいと思いますので、よろしくお願ひします。

【竹下係長】

本日は、お時間をいただきありがとうございました。また、次回以降も丁寧にご説明させていただきながら、取り組みを進めてまいりたいと考えていますので、皆様にもご協力をよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

【岡田(豊)会長】

その他に移ります。事務局からありますか。

【山崎班長】

地域活動支援事業について

— 資料により説明 —

【岡田(豊)会長】

各団体から報告を受けたものを、端的にまとめていただきました。

全戸配布を行い、それを参考に平成27年度地域活動支援事業に応募していただきたいと思います。

皆さんからご意見はありますか。

よろしいでしょうか。

【山崎班長】

皆さんのお手元に平成27年度版の市の地域活動支援事業の帳票を配りたいのですが、議会の議決後、27日付でお配りしますので、確認をお願いします。

【岡田(豊)会長】

その他ありますか。

【古海委員】

地域活動支援事業について、2年続けて補助金をいただいた団体が、今年は申請しないということです。補助金額約80万円いただいている事業です。PRに努めて、560万円に達しないで再募集にならないようにPRをしていただきたい。

【山崎(新)委員】

地域活動支援事業の報告書を提出していただいたことは大変良いと思います。

これからも、こういう報告を写真入りで、実際活動している面を出していただきたいと思います。

【岡田(豊)会長】

次に、人事異動について、次長をお願いします。

【小嶋次長】

— 資料により説明 —

【岡田(豊)会長】

その他ありますか。

【山崎(新)委員】

色々な資料を配布していただいておりますが、次回から市役所から説明に来るのか来ないのか、会議の案内に入れてほしいので、配慮をお願いします。

【岡田(豊)会長】

それでは、会議を終了して、次回の日程を決めたいと思います。

次回の会議は、4月17日18時30分から総合事務所で行いますので予定をお願いします。

内容は、今日皆さんに説明を聞いていただきましたが、その詳細を説明してもらいますので、自分の考え方をまとめて、臨んでいただきたいと思います。

どうしても、聞きたい内容があれば、事務局に連絡してもらって、次の各論説明、意見交換のときに反映できるようにしたいと思いますので、よろしくお願いします。

【坂田委員】

オープス中郷の特定財源の件については、過去の経緯がありますので、詳細な資料と今後の方向を踏まえた中で、検討する必要があると思います。

地域の特色がだんだん薄れてきていると思います。財政が苦しい中でも、中郷のカラーを無くすことは駄目だと思います。上越市全体を1色で塗りつぶすようなもので、地域力が削がれていくことでは困ると思います。

【岡田(豊)会長】

4月の予定が決まりましたが、その後は5月9日のプレゼンまで、会議の予定がありません。自主審議は、先に延びてしまいますが、よろしくお願いします。

本日は、これで閉会します。お疲れ様でした。

(終了 午後7時10分)

9 問合せ先

中郷区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 0255-74-2411

E-mail : nakago-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。